

2025年

4月15日(火)

18時30分開演

開場17時30分 終演予定20時

早稲田大学大隈記念講堂

入場料

会場

対象
本学学生 教職員 招待校友

無料(全席指定 事前申込制)

第16回 早稲田 狂言の夕べ



学生・教職員の申込み期間
3月17日(月)~4月3日(木)

※詳細は、裏面とMyWasedaを参照。

主催：早稲田大学(文化推進部・総長室)
協力：早稲田大学校友会

協賛：JR リーガロイヤルホテル 東京

千鳥 狂言
梶山 伏 狂言
鳥 玉之段 仕舞
野村 野村 宗典
万作 万作
酒屋 休憩
内藤 連
主 声
内藤 地謡
武田 武田
武田 武田
文志 崇史
志祥 照成
崇史
文志
志祥
成生

「早稲田 狂言の夕べ」は、校友で人間国宝・文化功労者の野村万作氏、子息で推薦校友の野村萬斎氏をはじめとする豪華出演者による狂言公演です。2010年4月より本学学生・教職員・招待校友を対象として開催し、毎年大好評をいただいております。今回は校友で観世流シテ方の武田宗典氏にもご出演頂き、仕舞を舞って頂きます。早稲田大学でしか観られない一味違った舞台を、大隈記念講堂(重要文化財)にてお楽しみください。

あらすじとみどころ

狂言 霜山伏(ふくろやまぶし)

山から戻って以来、様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈祷を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て祈り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟は山で梟の巣にイタズラをしたことが分かる。梟が取り憑いたものであろうと、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには…。

梟の鳴き声が印象的な楽しい演目です。観ている皆さんの中にも、梟の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれませんね。

狂言 千鳥(ちどり)

明日の神事に必要な酒を、支払いの滞っている酒屋から、どうにかして取ってくるよう命じられた太郎冠者は、酒屋に代金の米がすぐにも届くはずと嘘をつき、まんまと酒樽に酒を詰めさせる。早速持って帰ろうとするが、米が届かぬうちに渡せないと酒屋に止められてしまう。米を待つ間、話をするよう頼まれた太郎冠者は、尾張の津島祭の話を始めるのだが…。

太郎冠者と酒屋の駆け引きが楽しい作品です。津島祭の千鳥を伏せる場面や流鏑馬の様子が、仕方話でリズミカルに演じられます。太郎冠者は上手く酒を持ち出せるのでしょうか?

野村 万作

のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。2023年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村萬蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学第一文学部卒業。「万作の会」主宰。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、ニューヨーク・ジャパンソサエティ賞等受賞歴多数。02年、早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。練馬名誉区民。狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。練馬文化センター名誉館長。



野村 萬斎

のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村萬蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。早稲田大学推薦校友。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。紀伊國屋演劇賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞等受賞多数。16年度校友会稻穀賞特別賞受賞。24年坪内逍遙大賞受賞。石川県立音楽堂邦楽監督、東京芸術大学客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。

野村 裕基

のむら ゆうき

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶應義塾大学法学部卒業。3歳の時に『韌猿』で初舞台後、子方として国内外を問わず多数の舞台に出演。17年『三番叟』、20年『奈須与市語』、22季『釣狐』を披き、「万作の会」の若手狂言師の一人として狂言・能の舞台を勤めている。23年3月、舞台『ハムレット』(世田谷パブリックシアター、野村萬斎演出)でタイトルロールのハムレット役を務めた。朝日カルチャーセンター狂言クラスを指導。能楽協会会員。



武田 宗典

たけだ むねのり

1978年生。能楽師シテ方観世流。父・武田宗和及び十六世觀世宗家・觀世清和に師事。重要無形文化財総合指定者。一般社団法人観世会理事。早稲田大学第一文学部卒業。2歳11ヶ月で初舞台、10歳で初シテ(主役)、以後、「道成寺」「翁」「安宅」などの大曲を披曲。海外公演多数。国内外を問わず他分野とのコラボレーションも多数手掛けるほか、新作能『桃太郎』の制作など、能楽の可能性を拓げる試みを数多く行っている。「日比谷フェスティバル能」「築田寺薪能」なども企画。また「謡サロン」をはじめとした能楽講座を全国各地で開催している。

申込方法

MyWaseda(お知らせ)を参照のうえ、申請フォームよりお申込みください。

【対象】
学生・教職員
(関係職員含む)

3月17日(月) 9:00 ~ 4月3日(木) 10:00
※抽選結果通知(Wasedaメール)は4月4日(金)予定

- 観覧は、主に2階席です。応募者多数の場合は抽選となります。
- 校友(卒業生)の方は申込方法が異なります。『早稲田学報』2025年4月号「WASEDA TOPICS」をご覧ください。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ

メール : kyogen-toiawase@list.waseda.jp

文化推進部文化企画課 TEL:03-5272-4783 (月~金 9:00~17:00)

総長室校友課 TEL:03-3202-8040 (月~金 9:00~17:00)

<https://www.waseda.jp/culture/>

〈スタッフ〉

舞台監督／小坂部 恵次

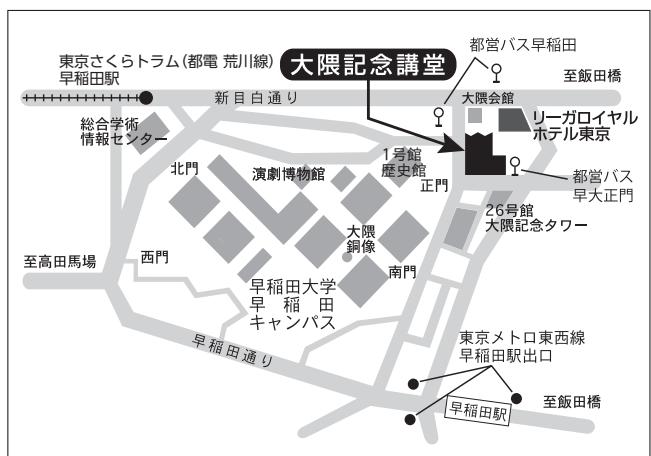
照 明／株式会社齊藤舞台照明 斎藤 正雄

舞 台／金井大道具株式会社 古賀 学

制作協力／万作の会

制 作／早稲田大学文化推進部

文化企画課



交通アクセス

JR山手線 / 西武新宿線 (高田馬場駅 徒歩20分)

東京メトロ 東西線 (早稲田駅 徒歩5分)

都営バス (高田馬場駅→早大正門 徒歩1分)

都営バス (新宿駅西口→早稲田) (渋谷駅→早大正門) (上野広小路→早稲田) 徒歩3分

東京さくらトラム (都電荒川線) 早稲田駅 徒歩5分

※学内に駐車場はございません。